

大切にしたい心構え

中学二年 宮本 大聖

昨今、「多様性の尊重」について様々な意見を耳にします。私も「多様性の尊重」は大切に、またそれぞれの人が「多様性の尊重」について考え、意見を持つことも同様に大切なことだと思います。しかし、それぞれが考える「多様性の尊重」が互いに互いの言動を監視し、制限したり、小さな間違いも許さないような今の社会の風潮には少し息苦しさを感じることもあり、疑問を持っています。

さて、私たちの学校では今年度から頭髪についての校則が一部変更されることになりました。この変更は、生徒会を中心に一人一人が様々な視点から校則について考え、意見を出し合って決定されました。私にとっても、校則は何の為にあるのか、どのような役割があるのか、校則を変更することにはどのような意味があるのか、今まで当たり前前に守ってきた校則について改めて考える良い機会となりました。校則を守ることは、私たちが社会に出て出会う様々なルールを理解し、守る練習になります。そして、ルールを守ることが学校という社会の秩序を保つことにつながるということを経験として学ぶことができます。

また、頭髮に関する校則については、私たちの本分である学業の妨げにならないよう、また校内だけでなく地域社会の人にも私たち生徒を温かく見守ってもらえるよう、清潔感のある髪型の一定の基準が示されていたのではないかと感じました。このように私たちのよりよい成長を願って作られた校則を変更し、今までより自由な髪型が認められるということは、私たち自身が自律心を持ち、自分たちで考えて、時、状況、相手に合わせた髪型を選ぶことが必要になります。自律心を持ち、自分で考えるためには、自分自身の状況を客観的に見つめ、常に自分を振り返えること、周りへの配慮や相手を理解し認める心を忘れてはいけないと思いました。

「多様性の尊重」についても同様のことが言えると思います。私たちの社会は性別や国、生まれ育った環境が違う様々な人が関わり、協力し合い、成り立っています。それぞれの考えがあり、意見が違うことは当然です。インターネットや交通手段が発展し、多種多様な人と気軽に簡単に関わりを持てるようになった今の時代だからこそ、一人一人が違う個性を持つ者同士だということを念頭に置いて、自分の気持ちや考えを丁寧に伝える、相手の話を素直に聞くという基本に返り真摯な姿勢が必要だと思います。私もよりよい社会を作る一

員となれるよう、一つ一つの出会いを大切に、自分とも周りの人とも
真摯に向き合い、自律した大人になれるよう努力していきたいです。